

カンキツ灰色かび病の防除薬剤の検討

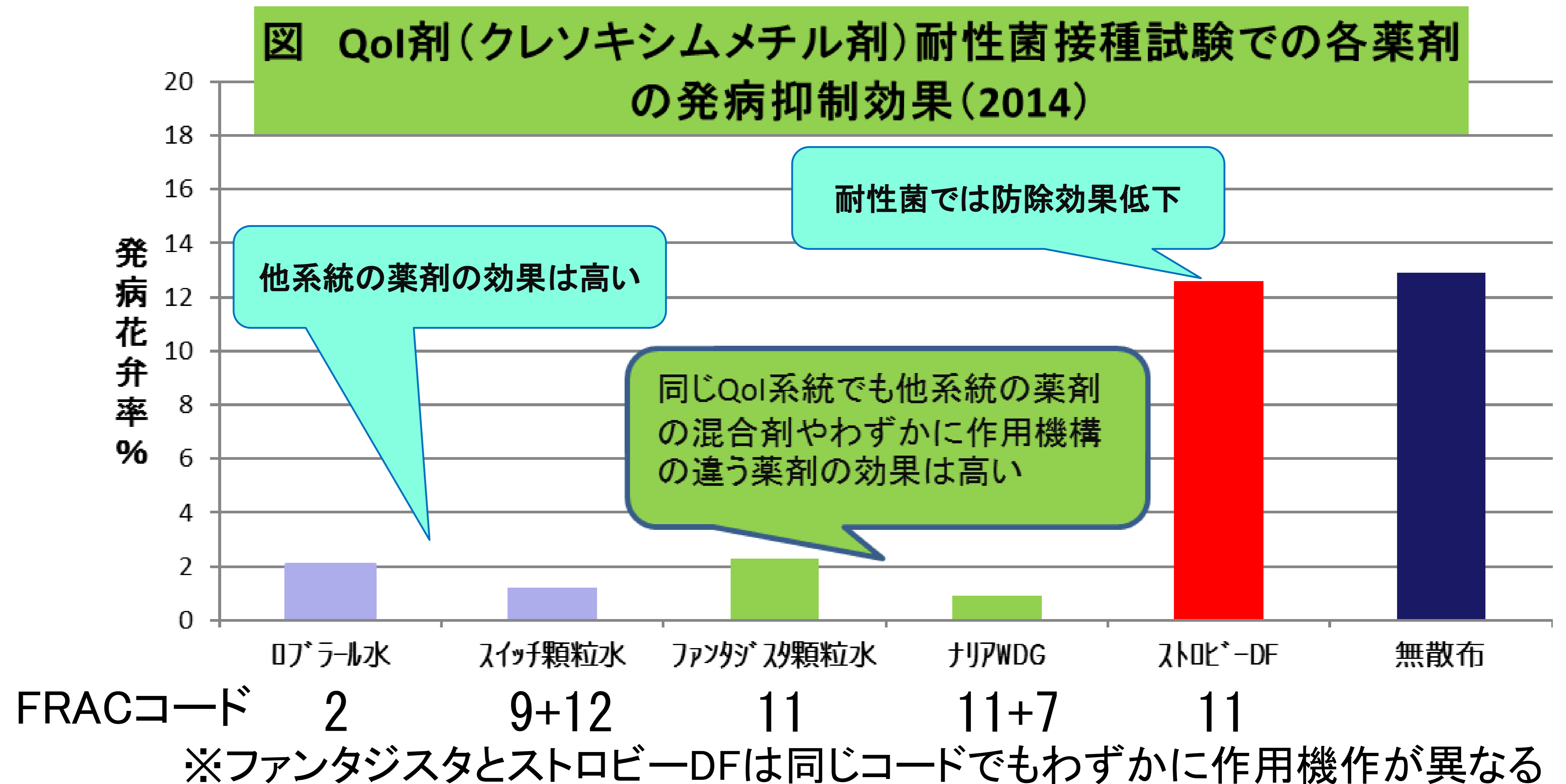
平成25年、カンキツにおいてQoI剤(クレソキシムメチル剤:商品名 ストロビー-DF)に対して効果の低下した灰色かび病菌が県内で初めて確認された。
 平成30年の培地を用いた検定でも耐性菌が確認されている。
 抵抗性の管理のため、FRACコードの異なる薬剤を組み合わせた防除が必要。

FRACコードとは？

- 世界農薬工業連盟の傘下のFRAC(殺菌剤耐性菌対策委員会)により作成された殺菌剤の作用機作ごとの分類コード
- 異なるコードの農薬を組み合わせて使用することで、病原菌の感受性低下・耐性リスクが低減できる



花卉に発生した灰色かび病
 (発病花卉が果皮に傷をつける)



耐性菌管理のため同じFRACコードに含まれる薬剤の連続使用はできるだけ避ける